



ドリラス

富山県

No.50 2009年1月

中央植物園だより



「凜」 撮影 / 窪木信正さん (第11回私の植物写真展応募作品)

ベニウチワ *Anthurium scherzerianum* Schott

グアテマラとコスタリカの原産で日本へは明治末に導入され、鉢物や切花として生産されている。仏炎苞の色は原種では朱色だが、白色やピンク色などの園芸品種がある。

BOTANIC GARDENS OF TOYAMA

1月～3月のサンライトホール展示

「干支にちなんだ植物展」

1月28日(水)まで



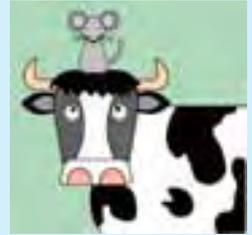
「ウシノシタ」



「シオンバーキア」



「キリン冠」



毎年恒例になった「干支にちなんだ植物展」を開催しています。平成21年の干支「丑」と平成20年の干支「子」を中心に十二支に因んだ植物を実物や写真、標本などで紹介しています。「丑」にちなんだ植物では、50cmを超える大きな葉を「牛の舌」に見立てたイワタバコ科の「ウシノシタ」や太いバルブを「牛の角」に見立てたラン科の「シオンバーキア」、トゲを牛の角に見立てたトウダイグサ科の「キリン冠」などを展示します。

「20年度研究発表展」

1月30日(金)～2月18日(日)

中央植物園の職員が日ごろ行っている調査・研究についてパネルを使ってわかりやすく紹介します。

1. 富山県で新たに確認された植物
 2. 富山県で新たに確認されたきのこ
 3. ワカサハマギクの自生地の変遷
 4. ササの分類について
 5. オオオニバスの開花について
 6. 中国科学院昆明植物研究所とのトウツバキに関する共同研究
 7. ラン科植物の種子発芽
- などについて展示する予定です。



関連行事「20年度研究発表会」

日時：2月1日(日) 13:30～16:00

場所：中央植物園研修室

「20年度研究発表展」で紹介している研究成果をわかりやすく発表します。

定員：70名

参加費：無料



第19回

花と緑のフェスティバル



日時：2月20日(金)～2月22日(日)

9:00～17:00(22日は16:30まで)

会場：サンライトホール・ドリアスホール

入園料：大人400円、高校生以下無料

「花と緑に親しみ潤いある環境を」をキャッチフレーズに、「県民生活の中



に花と緑を活用した彩り豊かで、安らぎのある生活スタイルを提案します。水と緑の森づくりのパネル展示のほか、コンテナガーデン・コンテスト、県内のチューリップ生産者が育成した品種の展示などが行われます。

第37回「富山県蘭まつり大会」3月6日(金)～8日(日)



カトレアの園芸品種



カトレアの園芸品種



タイリントキソウ



シュンランの一品種



カトレアの一種
(*Cattleya amethystoglossa*)



カトレアの一種
(*Cattleya walkeriana*)



カトレアの一種
(*Cattleya bicolor*)



カトレアの一種
(*Cattleya intermedia*)

超える洋ラン、東洋ラン、野生ランを展示します。

今回の特別展示は「カトレアの世界」と題して、「花の女王」とも称されるカトレアにスポットをあて、カトレアの原種や園芸品種、自生地の様子などについて実物や写真で紹介します。

講栽培講習会
「ランの植え替えと管理」

3月7日(土)
午前・午後の2回

3月8日(日)
午前・午後の2回

詳しくは最終ページの催し物のご案内をご覧ください。

会期中はランの
即売もあるよ!



今年で37回目を迎える「富山県蘭まつり大会」は北陸3県では最大規模のラン展で、富山県蘭協会をはじめ福井洋らん会、石川洋らん会の会員などが日ごろから丹精を込めて栽培している400点を

「コシノヒガンザクラ —高岡が育んだ桜の文化財—」 3月13日(金)～4月29日(水)

平成21年(2009年)は高岡市が開町400年という節目を迎えると同時に、高岡古城公園周辺に伝わるコシノヒガンザクラが新しい種類のサクラであることに気付いてから80年になるなど、コシノヒガンザクラについても節目の年になります。

また、高岡古城公園小竹藪に植えられているコシノヒガンザクラが、中央植物園の調査により、全国に広く普及しているものとは明らかに違いがあり、独自の系統であることがわかり、2008年度日本桜学会で発表しました。「コシノヒガンザクラ—高岡が育んだ桜の文化財—」では、その特徴などを写真などで紹介します。



活動報告(9~11月)

「スイレンフォト・お絵かきコンテスト」 8月29日(金)~9月10日(水)



「スイレンのお絵かき教室」の作品や園の内外で撮影したスイレンの写真を展示しました。

「フラワーデザイン展富山2008」 9月13日(金)~9月15日(月)



(社)日本フラワーデザイナー協会富山県支部と共同で開催しました。シュトラウス、アレンジメント、プティ・デザイン、ブーケ、フローラル・コラージュ、フローラル・アクセサリーの6部門に合計107点の作品が出品されました。

県民植物学講座

③「野生動物の生態と植物—クマ、サル、シカとの関係」9月21日(日)

④「富山県のナラ枯れの現状と対策」
10月25日(土)



最近富山県でも大きな問題になっているクマをはじめとするサル、シカなどの野生動物と植物の関係や近年被害が広がっているナラ枯れについて紹介していただきました。

観察会「水草の名前を調べよう」

9月23日(火・祝)



砺波平野の用水路や河川でクロモをはじめコカナダモ、アイノコセンニンモ、ヒルムシロなどを観察しました。

植物画講習会

10月18日(土)・19日(日)



豊田路子、岡田宗男両先生を講師に迎え、トルコギキョウやアルストロメリア、リンドウなどを描きました。

折り紙植物園

10月3日(金)~11月5日(水)



県内外から応募があった色とりどりの折り紙作品70点を展示しました。折り紙で作ったとは思えない造形に入園者は驚いていました。

「第2回秋のラン展」

11月21日(金)~23日(日)



カンランの開花時期に合わせて昨年からはじまった「秋のラン展」には、今年もカンランをはじめ、シュンラン、カトレアなど300株を超える出品があり、1300人を超える入園者で賑わいました。

「クリスマスの植物」

11月28日(金)~12月24日(水)



クリスマスカクタスなど名前に「クリスマス」がついている植物や聖書に出てくるクリスマスに関係する植物などを展示しました。

植物園 トピックス

■ 冬季料金設定!



今年度から冬季料金が設定されることになり、12月～2月の入園料金が400円になっています。トウツバキなどこの季節に見頃を迎える植物もありますので、是非冬の植物園へもお出かけください。

■ 李景秀さん来園

共同研究のため中国科学院昆明植物研究所の李景秀さんが(財)国



際花と緑の博覧会協会の研究助成により来園し、10月23日から12月4日までトウツバキの増殖に関する研究を行いました。

■ 植物園クラブ

今年も「植物園クラブ」にたくさんの親子が参加してくれました。ハロウィンに合わせて行った「かぼちゃのチョウチンづくり」は大変な人気でした。

11月15日(土)には、5月に定植し、約半年かけて育てたパパイア



を収穫しました。富山の露地栽培ではパパイアは完熟しないので、緑色のパパイアを使ってサラダとカレーを作ってみみんなで試食しました。



研究紹介◎『富山県を代表する植物群落の30年の変化』

主任 吉田めぐみ

富山県の植生については、「富山県の植生」(宮脇1977)のほか、1972年より始まった環境庁(現環境省)の自然環境保全基礎調査(緑の国勢調査)があり、第2回調査(1978、79年)から各都道府県の代表的な植生の定点調査(特定群落調査)が始められました。富山県でも追跡生育調査対象として9ヵ所が選ばれ、約10年おきに調査されてきました。その後環境省の調査方針が変更され、最後の調査より10年経過しても特定群落の調査は実施される予定がありません。そこで第5回調査に参加した山下副主幹研究員とともに昨年度特定植物群落9ヵ所のうち、8ヵ所について追跡調査を行いました。

対象とした調査地において、植物社会学的手法によって群落構成種の記載を行いました。同一地点で4回分のデータが蓄積され、群落の類似度指数を算出して比較検討しました。

その結果30年間で類似度指数が小さい、つまり構成種が大きく変化した場所は、立山美女平のタテヤマシギ群落、宮崎のスダジイ林、立山室堂のハイマツ群落の3地点でした。このうちハイマツ群落は、10年前に比べハイマツの成長が著しく良好となり、下層に出現していた草本植物が消滅したためと推察されました。

一方、類似度指数は比較的大きかったものの、ブナ坂のブナ林、美松坂のオオシラビソ林や常楽寺のウラジロガシ林などのように、群落の優占種の状態が大幅に変化した場所も見られました。これらのうち常楽寺のウラジロガシ林では松枯れとカシノナガキクイムシにより高木の枯損が確認されました。

以上のように、限られた場所での調査ですが、県内の自然環境はここ30年間に大きく変化している場所があることが今回明らかとなりました。これらの原因として近年の地球温暖化の影響は無視できないと考えられます。今後も富山県の植生の変化を継続してモニタリングしていく必要があると思われます。



室堂ハイマツ群落

話題の植物「ツルギキクザクラ」

上市町に生育するサクラで、友の会会員の武田宏さんと中央植物園の大原隆明主任との共同研究で、菊咲き性のサクラの新園芸品種であることが明らかになりました。劔岳に因んで「ツルギキクザクラ」と命名されました。



「ツルギキクザクラ」の名前の由来になった劔岳
(写真は3点とも武田宏さん提供)

催し物のご案内

■企画展示 サンライトホール
(9:00~17:00)
(1月末まで9:00~16:30)

「干支にちなんだ植物展」

12月19日(金)~1月28日(水)

平成20年の干支「子」と平成21年の干支「丑」に因んだ植物を展示します。入園料が必要です。

「20年度研究発表展」

1月30日(金)~2月18日(水)

植物園の職員が日ごろ行っている研究成果をポスター形式で紹介します。入園料が必要です。

「第37回富山県蘭まつり大会」

3月6日(金)~3月8日(日)

富山県蘭協会との共催で約400点ほどの洋ラン、東洋ランなどを展示します。会場内ではランの即売も行われます。入園料が必要です。

「コシノヒガンザクラ

—高岡が育んだ桜の文化財—

3月13日(金)~4月29日(水)

高岡市の開町400年にあわせ高岡古城公園に伝わるコシノヒガンザクラについて紹介します。入園料が必要です。

■私の植物画展作品募集

1 応募要項

- ・科学的に正確な精密画で、透明水彩絵の具で彩色したもの、あるいは墨入れした線画
- ・A3サイズ以下(297mm×420mm以下)
- ・1人1点 ※額装の必要はありません。

2 応募方法

- ・作品の裏面に氏名、描いた植物名、完成年月日、住所、電話番号を記入し、植物園まで持参または送ってください。
- ・郵便での返送をご希望の方は、郵便切手を添えてお申ください。また、着払い宅配便での返送をご希望の方はその旨お知らせください。

3 作品受付期間

平成21年3月10日(火)~4月20日(月)

4 作品の送付先

〒939-2713

富山県富山市婦中町上轡田42

富山県中央植物園

■観察会・講座・講習会

★「20年度研究発表会」

2月1日(日) 13:30~16:00

場所/研修室

「20年度研究発表展」で紹介している植物園の職員が日ごろ行っている研究成果をわかりやすく紹介します。

定員/70名 参加費/無料

★栽培講習会

「ランの植え替えと管理」

3月7日(土) ①10:30~12:00

②13:30~15:00

3月8日(日) ①10:30~12:00

②13:30~15:00

場所/管理研修棟研修室

講師/富山県蘭協会会員

定員/各50名

■月例行事

日曜植物案内

第1、2日曜日 13:30~14:30

集合場所/サンライトホール

参加費/入園料が必要

ガイドボランティアや職員が見頃の植物などを解説します。

★印はボランティア養成講座です

友の会会員募集中!

■特典

- ・会員証を示しサインするだけで入園できます。
- ◎会報や植物園だよりが送られてきます。
- ◎多彩な友の会の行事に参加できます。
- ◎印刷物を割引で購入できます。

■会費

年額3,000円。5月以降、新規に加入される方は初年度会費の割引を受けられます。

■入会方法

植物園の入園窓口で随時受け付けています。

富山県中央植物園 入園案内

開園時間 9:00~17:00(入園は16:30まで)
(11月~1月は9:00~16:30、入園は16:00まで)
休園日 毎週木曜日、年末年始(12月28日~1月4日)

入園料 大人(一般および大学生) 600円
団体料金(20名以上) 480円
高校生以下無料
冬季入園料(12月~2月)
大人(一般および大学生) 400円
団体料金(20名以上) 320円
高校生以下無料

交通案内 JR富山駅から、富山地鉄バス「ファボーレ経由萩の島循環」に乗りし「中央植物園口」停留所下車、徒歩約12分/富山市中心部より車で約15分/北陸自動車道富山インターより車で約15分/JR速星駅より車で約8分